



金亀会報

令和5年3月1日発行
発行所
滋賀県立彦根東高等学校
金亀会
滋賀県彦根市金亀町4-7
TEL&FAX0749-23-0888

印刷所
ヒコハシ
彦根市城町1丁目4-12



▲いろは松から彦根城内へ登校

▲彦根東高を見守る大銀杏

滋賀県各地から生徒が 集まる学びの拠点へ



金亀会HP



学校紹介2021

【令和4年度生徒の出身中学校市町別人数】

彦根市約260人 長浜市170 東近江市110 大津・草津・守山・栗東・野洲市150
近江八幡市100 米原市70 蒲生・愛知・犬上郡50 他市・私立等50



学校紹介2022



ごあいさつ

金亀会会長 細江 正人(東13)

金亀会会員の皆さま方におかれましては、平素より彦根東高校同窓会「金亀会」の活動に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は世界平和の祭典北京冬季オリンピックが閉幕するや否や、ロシアによるウクライナ侵攻、北朝鮮の度重なるミサイル発射もあり、不穏な一年でありました。我が国ではコロナ不況に追い打ちを掛けるように原油等エネルギー関連からの諸物価高騰となりましたが、「サッカークワールドカップで「ブラボー」と言えたことが明るいニュースでした。

4年目に突入したコロナ禍は、オミクロン株でまた感染が拡大しております。亡くなられた方、今なお病に苦しんでおられる方々に對し、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、現場でご尽力いただいている医療従事者の皆さま、裏方となり暮らしを支えている行政、ボランティアの皆さまに心から感謝申し上げます。

22日23日に開催されます。このフォーラムは太平洋を囲む国や地域(オーストラリア、インド、インドネシア、中国、日本)の高校生がエネルギー問題や自然災害、水環境問題、住環境問題などの現代の国際的な諸課題や世界遺産などの文化等について意見交換するとともに、自ら取り組んだ科学的な課題研究の成果を発表しあうことで、持続可能な社会づくりに参画することを目指して開催されます。彦根商工会議所の協力をいただき、地域の企業からも協賛していただいております。紙面を借りて御礼申し上げます。



ごあいさつ

校長 伊吹 直樹

金亀会会員の皆様には、ますますご壮健にて各界でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より彦根東高の教育活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。令和4年度は、5月の金亀会総

城郭と、どのような石垣でも打ち壊す鉄砲(大筒)の熾烈な争いの中から、やがて江戸時代という二百六十年間戦争のない日本の国を創り上げたと言われている。これだけ長い期間戦争がなかった国は世界でも例がないようです。

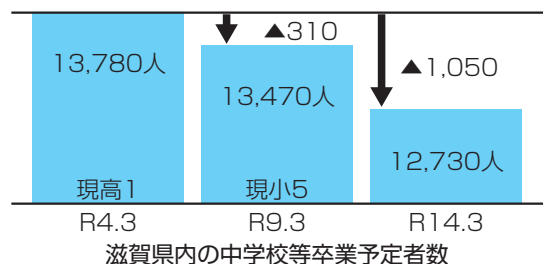
この平和な国を統治する仕組みというところで、母校の立地する彦根城一帯が世界遺産に登録されようとしています。

井伊家彦根藩校に源流を持つ母校は明治9年8月の創立で、令和8年には県下の高等学校に先駆けて創立百五十周年を迎えます。この大きな節目に向けての周年記念の準備は始めておりますが、金亀会としてはこれらのもも執り行部は、少し若返る役員で構成しなければならぬと考えております。今日までのご協力に感謝し御礼申し上げます。同窓という確かな強い絆で結ばれております金亀会へより一層のご指導ご鞭撻をお願いし、お礼とご挨拶とさせていただきます。

でき、彦根東高のさらなる発展に一層尽力してまいる所存です。

彦根東高には、滋賀県各地から集まる約950名の生徒と70名の教職員がともに力を合わせて教育活動を推進しています。私は校長として、ほぼ毎日、授業や部活動での生徒の様子をみて歩いていきます。明朗快活な生徒もいれば、無口で沈黙者の生徒も多くいます。多様な生徒が集まりお互いを尊重しながら成長しています。そして、すべての教職員は同窓であるなしによらず、勤めた学校こそ我が母校として、生徒を決して他人や他校と比べることなく一人ひとりの成長の伸び率をしっかりと見ています。その成果は、東京大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学、滋賀大学、滋賀医科大学等への進学と多くの部活動での全国大会・近畿大会出場につながっています。

これまでもから彦根東高は、生徒と教職員とが力を合わせて学校を創り上げてきた実績があります。近年では、2学期制(平成8〜27)、65分授業(平成10〜14)、土曜授業(平成14〜)、55分授業(平成15〜23)、50分7限授業(平成24〜)、国SSHスーパーサイエンスハイスクール指定校(平成16〜令和3)、国WWLワールド・ワイド・ラーニング開発拠点校(令和4〜6)などの学校改革を反映した特色ある教育課程を編成しています。そして、令和8年度には、明治9年開校の彦根学校を起源として創立150年を迎えることとなります。一方で、将来の生徒数減少(図)、特に数年後から顕著になる滋賀県北部地域の生徒数減少を踏まえた彦根東高の在り方についても考えていく必要があります。



滋賀県立高等学校は45校あり、どの高校にも素晴らしい特色があります。その中で、彦根東高の特色は、彦根城にある伝統校ということだけではなく、北は長浜市から南は大津市まで幅広く県内各地から多様な生徒が集まることであり、また、互いのことを大切にしながら切磋琢磨して成長する生徒の高校3年間の伸び率にあります。校歌3番にあるように、「弾めよ澁刺 城より高く 響かせ凱歌を 星座にまでも」生徒たちの力を伸ばしてやりたいと思います。最後に、今年度の彦根東高の卒業生も含めて、金亀会会員の皆様のご多幸をお祈りするとともに、今後ともご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

そのために、教職員でこれからの学校改革を主体的に議論し、先ず視察も実施し、現在の普通科8学級の学校をさらにどう魅力化するかの検討を重ねていきます。



▲彦根東高体操

業の改革に乗り出しました。まず運動の学び方や取り組み方に対しての基礎・基本を大切に、高校3年間をかけ



▲ダンスフェスティバル

たダンスの授業にも力を入れた。1年生ではダンスの動きを取り入れた基本運動やダンスを導入

◇日本一憧れられる野球部に56年ぶり甲子園大会出場
部活動は野球部を担当させていた。ただ、平成8年夏からは監督に就任しました。やるからには「甲子園出場。そして、日本一憧れられる野球部に」との思いで、部員とともに今までの活動の仕方を変えていきま

し、単位時間当たりの個人の活動量を増大しました。これはチームを複数に分けて練習や試合を行うもので、当時はあまり例をみない形態の活動でした。そして、野球部後援会にお願いしてバスを購入していただき、このバスを活用して、星稜、大阪桐蔭、平安、早稲田実業など全国レベルの学校との強化試合を毎週のように組みました。さらに最新スポーツ医学に基づいたコンディショニングやメンタルトレーニング、食への取組みなど有効であると思われることを数多く取り入れられました。また、「最後の勝負を決めるのは人としての力である」との考えから、比叡山や荒神山での修行などを通して仲間との絆や「人間力」の向上にも努めました。

◇「即今・只今・此処」
私は彦根東高校在職中「即今・只今・此処（今、ここを大切に）」ということ、ことあるごとに生徒の皆さんには言い続けてきました。今も続く卒業生の皆さんとのつながりの中で、このことをよく覚えていてくれることを大変うれしく思います。長い歴史の中で積み重ね、引き継がれてきた力のもとに学んだ卒業生や在校生の皆さんがそれぞれの「今、ここ」を大切にされ、充実した人生を歩んでいかれること、そして彦根東高校のますますの発展を祈念していま

◇生徒の自己教育力の涵養
東高体操とダンスフェスティバル
私は平成8年から15年間彦根東高校に勤務させていただきました。赴任当日の朝、母校への勤務ということで非常に懐かしい思いで学校に向かったのを覚えています。そして勤務をする中で、彦根東高校の生徒が本来持っている力を磨き、高め、将来社会のリーダーとして活躍するには今何が必要かということを生先生方とよく議論していました。

て「生徒の自己教育力」を育むカリキュラムを構築しました。この中で、1年生には伝統的に伝わる彦根東高体操と集団行動を通して基礎・基本の徹底を図ることにしました。東高体操は一定期間の練習の後、全員の前で発表をし、少しでも動きが違えば不合格となるという厳しいものでした。なかなか合格できずに、友人と教えあひながら練習する風景が校内のあちこちで見られ、合格を果たしたときは涙を流し、周囲からの大きな拍手を送られた生徒もいました。また、それまで本格的な実践がなされてい

し、2年生では創作ダンスに加え、専門家に指導いただく東高オリジナルヒップホップダンスに取り組みました。そして、毎年年末に全学年が一堂に会して「彦根東ダンスフェスティバル」を開催してその成果を発表し、学校全体が大いに盛り上がったのも印象的なことでした。
こうした授業実践を通して、自分の力を発揮しながら、他を思いやり仲間とともに充実した体育授業を展開してくれるようになったと思います。また、体育の実践が学校全体に広がり、学校が明るく元気になったように感じました。


戦術的には「彦根東にしかできない、彦根東だからこそできる」野球を追求し、「上手くないけど勝てる」チーム作りを目指しました。運よく新たな取り組みを始めた1年後の平成9年の秋季県大会で優勝し、近畿大会・明治神宮大会に出場することができました。そしてその後も毎年の部員の「新しい歴史を作る」という真剣な思いと努力により、近畿大会へ五回出場し、夏の大会も準優勝一回、ベスト4二回という成績を収めるようになりました。しかし、甲子園まではあと一歩が届かず、敗戦のたびに「何が足りない」と部員とともに、時には涙を流しながら話し合い、また歩み出すということとを何度も繰り返しました。そしてついに、平成20年の新チームが秋季県大会で準優勝、6度目の近畿大会に出場したことと今までの積み上げを評価していただき、21世紀杯で56年ぶりの選抜大会に出場していただきました。

とを本當にうれしく思いました。試合当日真っ赤に染まったスタンドをみて心が震えました。甲子園出場に際して世代を超えた本當に多くの方々から応援や激励をいただき、改めて彦根東高校の持つ力の大きさを感じました。その後私は彦根東高校を離れましたが、この甲子園出場をきっかけとして選手権大会二回、選抜大会一回の甲子園出場を果たし、また東京六大学や社会人野球で活躍する選手を輩出するなど、「日本一憧れられる野球部」への道を歩み続けています。

恩師だより

引き継がれていく力と「即今・只今・此処」

いまい よしなり
今井 義尚



《プロフィール》
昭和34年（1959年）12月12日生
彦根東高校、滋賀大学教育学部卒業、滋賀大学大学院教育学研究科修士
甲賀町立大原小学校、甲西町立菩提寺小学校、滋賀県立栗東高等学校勤務を経て平成8年（1996年）～22年（2010年）滋賀県立彦根東高等学校勤務
その後、滋賀県立聾話学校教頭、滋賀県体育協会競技向上次長、滋賀県立大津商業高等学校校長を経て現在、滋賀県立守山高高等学校勤務
滋賀県軟式野球ユニオンリーグ高校野球橋渡し事業アドバイザー
滋賀県野球連絡協議会事務局長
平成27年（2015年）全国学校体育研究功労者賞
令和3年（2021年）日本高等学校野球連盟功労賞

と伝統という「糸」とその時代その時代が作り上げた「横の糸」が見事に織りなされた結果、甲子園出場



▲第81回選抜高等学校野球大会 真っ赤に燃えるアルプススタンド

と伝統という「糸」とその時代その時代が作り上げた「横の糸」が見事に織りなされた結果、甲子園出場

令和3年度 金亀会一般会計収入支出決算報告書

(収入の部)

(単位:円)

予算科目	予算額	決算額	差引額	備 考
入会金	948,000	943,000	△5,000	在校生943人
会 費	4,800,000	5,744,834	944,834	終身会費:275人 年会費:150人 賛助会費:367人 (3,000千円)
雑収入	50,312	28,939	△21,373	周年事業記念誌、名簿 宛名シール、預金利息
繰越金	3,559,688	3,559,688	0	前年度繰越金
合 計	9,358,000	10,276,461	918,461	

(支出の部)

予算科目	予算額	決算額	差引額	備 考
事務費	210,000	252,081	△42,081	コピー代、消耗品代
通信費	125,000	114,365	10,635	電話代、郵送料
総会費	145,000	99,481	45,519	総会開催経費
会議費	120,000	72,781	47,219	常任理事会開催経費
旅 費	120,000	0	120,000	
渉外費	450,000	301,957	148,043	支部総会祝金(見舞金)
事業費	4,121,000	4,054,389	66,611	公孫樹印刷代、会報発送費、印刷機・複写機リース代
激励費	1,000,000	875,000	125,000	全国・近畿大会出場激励金
繰出金	0	0	0	
予備費	3,067,000	0	3,067,000	
合 計	9,358,000	5,770,054	3,587,946	

収入総額 10,276,461円－支出総額 5,770,054円＝残額 4,506,407円 (令和4年度へ繰越)

令和4年度 金亀会一般会計収入支出状況(12月末)

(収入の部)

(単位:円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備 考
入会金	945,000	766,000	△179,000	在校生
会 費	6,000,000	1,613,578	△4,386,422	終身会費:75人、年会費:57人 賛助会費:113人 (845千円)
雑収入	20,593	17,567	△3,026	周年事業記念誌 宛名シール、預金利息
繰越金	4,506,407	4,506,407	0	前年度繰越金
合 計	11,472,000	6,903,552	△4,568,448	

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備 考
事務費	202,000	59,735	142,265	消耗品費
通信費	122,000	77,771	44,229	電話代、郵送料
総会費	155,000	79,085	75,915	総会諸経費
会議費	120,000	55,118	64,882	常任理事会
旅 費	120,000	173,890	△53,890	支部総会
渉外費	600,000	600,000	0	支部総会祝金
事業費	4,200,000	199,272	4,000,728	公孫樹印刷代、印刷機・複写機リース代
激励費	1,000,000	705,000	295,000	全国・近畿大会出場激励金
繰出金	2,500,000	0	2,500,000	
予備費	2,453,000	0	2,453,000	
合 計	11,472,000	1,949,871	9,522,129	

収入総額 6,903,552円－支出総額 1,949,871円＝残額 4,953,681円

令和3年度 金亀会基金会計収入支出決算報告書

(収入の部)

(単位:円)

予算科目	予算額	決算額	差引額	備 考
繰越金	16,041,578	16,041,578	0	前年度繰越金
繰入金	0	0	0	一般会計より
寄付金	1,000	1,620,010	1,619,010	東第20回、東第1回、関西金亀会
雑収入	422	1,419	997	預金利息
合 計	16,043,000	17,663,007	1,620,007	

※東高第20回卒業同窓会より、160万円のご寄附をいただきました。

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備 考
激励費	2,200,000	850,000	1,350,000	
SSH海外研修事業	1,000,000	150,000	850,000	グローバルチャレンジキャンプ参加生徒支援
SSH国際フォーラム事業	700,000	700,000	0	SSH国際フォーラム開催激励金
後援会激励金	500,000	0	500,000	
周年事業費	1,080,000	1,281,775	△201,775	
ホームページ開設費	600,000	841,775	△241,775	金亀会ホームページ修正費
雇用費	480,000	440,000	40,000	史料館 史資料デジタル化に伴う職員雇用費用
計	3,280,000	2,131,775	1,148,225	

収入総額 17,663,007円－支出総額 2,131,775円＝残額 15,531,232円 (令和4年度へ繰越)

令和3年度 会計監査報告書

令和3年度滋賀県立彦根東高等学校金亀会の一般会計及び基金会計について、各会計の決算書を基に関係諸帳簿、預金通帳及び収入支出証書類等の監査をしたところ、いずれも適正に処理されており、正確であったことを認めます。

令和4年4月25日

金亀会会計監査 青山 裕史(印) 横田 実(印)

滋賀金亀会有志の方お手伝いを
いただきました。懇親会は開催できな
かったものの、盛会のうちに終え
ることができました。来年度
は12頁のお
り開催しま
ので、多く
皆様のご出
席をお待ち
します。



令和4年度 金亀会基金会計収入支出状況(12月末)

(収入の部)

(単位:円)

予算科目	予算額	収入済額	差引額	備 考
繰越金	15,531,232	15,531,232	0	前年度繰越金
繰入金	2,500,000	0	△2,500,000	一般会計より
寄付金	1,000	10,000	9,000	関西金亀会
雑収入	743	30	△713	預金利息
合 計	18,032,975	15,541,262	△2,491,713	

(支出の部)

予算科目	予算額	支出済額	差引額	備 考
激励費	2,600,000	600,000	2,000,000	
海外研修事業	1,500,000	600,000	900,000	グローバルチャレンジキャンプ参加生徒支援
国際フォーラム事業	600,000	0	600,000	
後援会激励金	500,000	0	500,000	
周年事業費	690,000	353,550	336,450	
ホームページ開設費	210,000	33,550	176,450	金亀会ホームページ修正費
雇用費	480,000	320,000	160,000	史料館 史資料デジタル化に伴う職員雇用費用
計	3,290,000	953,550	2,336,450	

※グローバルチャレンジキャンプとは、滋賀県教育委員会主催のプログラムで、英国文化が体験できるブリティッシュヒルズ(福島県)において授業や生活の場も全て英語で行うことで、国際的に活躍できるグローバル人材の育成を図る集中宿泊研修。

収入総額 15,541,262円－支出総額 953,550円＝残額 14,587,712円

金亀会総会

令和4年5月22日(日)に金亀
会総会を彦根東高の木造校舎多
目的ホールにて開催しました。久
闊を序するため全国各地から70
名以上の同窓生の方々にご出
席をいただきました。

総会では、令和3年度事業・決
算報告と令和4年度事業・予算案
等の審議を経て、これらの承認を
いただきました。

その後、記念講演として、彦根
東高14回卒業生である京都大学名
誉教授の落合庄治郎先生から、
『材料と共に、材料研究の面白
さ・材料への共感』と題して、
ご講演をいただきました。日本初
の新材料の青色LED、リチウム
イオン電池等の話題や、同質が結
びつくと弱くなる複合材料と人間
社会の類似性についてわかりやす
くお話しいただきました。また、
彦根東高時代は55人学級10クラス
であったこと、化学の授業で金亀
炎色反応の実験をしたことなど、
当時の教育活動についても触れて
いただきました大変有意義な時間
となりました。

東海金亀会 近況報告
事務局長 川村恒治(東16)

*第20回東海金亀会定例総会

令和4年6月26日(日)、東海金亀会(孫正昇嗣会長・東11)総会が名古屋市の東京第一ホテル錦で2年ぶりに開催されました。金亀会本部から細江正人会長(東13)、母校から伊吹直樹校長、本部事務局の小谷野佑介教諭をお迎えし、会員も21名が出席しました。ここ2年間は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、総会の開催を中止してきており、今回は久しぶりに開催することができました。ただ、まだまだ感染の終息とはゆかず、多くの人が一堂に会することでの感染を心配される方も多くみられる様で、従来のように40名近くの会員が出席されるには至りませんでした。

総会の内容ですが、令和3年度の事業報告、決算報告、令和4年度の事業計画、予算案が諮られ、原案通り承認されました。総会終了後は記念講演に移り、東海金亀会員で前大垣市民病院



副院長の藤本佳則氏(東20)から「60歳を過ぎたら男も女も泌尿器科へ」と題して講演をいただきました。会員の皆様も高齢化は避けられず、大変身近なテーマでもあり、大きな関心をもって耳を傾けておられました。

なお来年度は、令和5年6月18日(日)に定例総会の開催を予定しております。

*第36回懇親ゴルフ会

会員間の親睦ゴルフ会は例年、春と秋の年2回開催されてきましたが、こちらも新型コロナウイルス感染拡大で昨年は、春のみの開催となりました。この第36回は令和3年6月29日(火)、さなげカントリークラブ(愛知県)で9名が参加されて開催され、宮川尚子さん(東24)が優勝されました。

また昨年の秋と今年の春も新型コロナウイルス感染拡大に終息の兆しが見えず、開催中止となっております。従って次回第37回懇親ゴルフ会は、今年度の秋9月21日(水)、岐阜関カントリークラブ(岐阜県)での開催が計画されています。

*第10回歴史探訪ウォーキング

こちらもここ2年間は開催中止を余儀なくされてきましたが、ようやく今年の11月20日(日)に「港と蛤の町、桑名市を訪ねて」をテーマに開催をしました。

今後も定例総会をはじめ、懇親ゴルフ会、歴史探訪ウォーキング会等、いろいろな会員交流行事に皆さんの参加をお待ちしています。会員の皆様におかれましては益々清栄のこととお慶び申し上げます。

第103回 2022年度 東京金亀会総会並びに親睦会報告

幹事長 福永典明(東17)

本年度は関東在住者一都七県1,956名の会員方々に案内状を送付致しましたところ、総会出席者を含め243名の方々から年会費を頂戴し誠に有難うございました。

皆様から納付頂きました年会費は貴重な財源として案内状送付等の運営費に活用させて頂きます。さて、コロナ禍において過去2年間総会開催中止を余儀なくされておりましたが、今年ようやく3年ぶりに103回目の総会並びに懇親会を開催することが出来ました。コロナ対策として一つの円卓テーブルには6名までの人数制限をし、且つ隣の席との間にはアクリル板を設置し、お食事はお一人ずつ松花堂御膳にするなど万全を期しました。

総会では驚見禎彦会長(S23卒)の挨拶に始まり、続いて来賓である細江正人金亀会会長及び彦根東高校・伊吹直樹校長先生からご挨拶を賜りました。

そして3年間の事業報告・会計報告・会計監査報告と、更には東京金亀会会則の改正案を満場一致で承認頂きました。

又、会長職は福原紀彦さん(S47卒)にバトンタッチし、副会長を今木繁行さん(S48卒)・森崇さん(S53卒)・奥村滋子さん(S56卒)の3名体制とし、副会長であった岡村美孝さん(S44

卒)さんは顧問として引き続きご尽力いただくことも併せて承認頂きました。その後は田原総一郎さん(S28卒)の特別講演「国賊が英傑か、大老井伊直弼の生涯」(ご自身著書)をテーマにお話し頂きました。前日に安倍晋三元総理の事件があったことから田原さんと安倍氏との関係にも触れて頂き、講演が一層熱を帯びる事となりました。加えて田原さんを追いかけるテレビ朝日のカメラ取材も入り、一同固唾を飲んで講演をお聞きした次第です。

講演終了後は総勢約120名参加の記念写真撮影を致しました。懇親会は福原会長の新任挨拶と高らかな乾杯音頭で開始。宴もたけなわの頃、現役の慶応大学野球部・増居翔太投手・朝日晴人内野手、早稲田大学・原功征投手が特別参加をしてくれ、野球部OBの森崇さんの司会で高校野球部時代から現在の東京六大学野球に繋がる四方山話を披露。またとない現役野球選手と東京金亀会会員との交流が実現しました。

引き続き、TBSラジオで彦根東高校が3週間に渡り取り上げられた「安住紳一郎の日曜天国」での旧制一中や現在の彦根東高校の位置など視聴者とのやり取りの録音を皆さんに聞いて頂き、更には安住氏と直接話された京都新聞・天草愛理記者(H24卒)に上京頂き貴重な体験談をご披露して頂き会場は大いに盛り上がりました。

いよいよ最後は校歌・応援歌・「琵琶湖周航の歌」を金亀会副会

長の中村直樹さん(S47卒)の指揮のもと参加者全員(コロナ禍にて)心で唄い、さらに岡村美孝顧問のメールで会を締めまして、皆様大満足の中お開きとなりました。サントリービール・マスターズドリームとパーフェクト・サントリービールをお土産としてお持ち帰り頂きました。今年度は3年ぶりの開催にてとても充実した内容となりました。来年度は早稲田大学競走部駅伝監督の花田勝彦さん(H2卒)に箱根駅伝を熱く語って頂く予定です。なお一層充実した内容の懇親会にして参りますので、これからも皆様の

一層のご指導・ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。尚、今年10月8日(土)48名の参加者で「江戸城



探索ツアー・桜田門外から皇居東御苑」を実施。東京に住みながらも江戸城を訪れたことのない私達をガイドさんに案内頂き、途中お昼のお江戸エコ昼御膳で江戸時代の食膳を体験(タイムスリップ)、江戸城の壮大な景観や城跡の素晴らしさに感動しました。皆さん足の疲れもありましたが、幸い天候にも恵まれ大満足の「江戸城探索ツアー」となり思い出深いものになりました。以上、ご報告とさせていただきます。

関西金亀会の報告
関西金亀会 第10回総会開催
 副会長兼事務局長
森田 定和 (東14)

第10回関西金亀会総会・懇親会が、昨年10月29日(土) 11時からホテルプリムロームズ大阪で来賓を含め85人参加のもと開催されました。2年毎の開催が、コロナ禍で2018年6月以来4年半ぶりの開催でした。

物故者への黙祷で始まった総会、続く校歌斉唱ではマクスを着用し、前方スクリーンの映像を見ながら、心の中で歌う方法がとられました。片上純一会長(東13)は、挨拶で一堂に集える喜びを述べた後、若手対象のアンケート調査の実施、その結果に基づく会員交流会などはコロナ禍で実施できず、次期役員に委ねたい旨述べました。活動報告、会計報告、会則一部改正承認の後、新しく就任された松村正和会長(東16)は、挨拶で

「『歴史街道歩こう会』『ゴルフ同好会』を続けるほか、今後、総会の年1回開催の検討、若い世代に参加を促す交流会や同好会の検討などを発展させる決意の他、予算についても本部へ力強く要望しました。その後、第20回日本自費出版文芸賞に入選の「雪辱 真説・井伊直弼(サンライズ出版)の著者、野村素一さん(東3)に「幕末史と井伊直弼の真実に迫る」と題する特別講演をして頂きました。日本史で

最も歪められているのは幕末・明治維新の歴史で、歴史教科書で誤って伝えられる項目を指摘され、彦根藩士・小西貞義による水戸での徳川斉昭への仇討ちの史実、真実の直弼について語られ、その話に一同聴き入りました。続く懇親会では、来賓の細江正人金亀会会長(東13)の彦根城の



世界遺産登録に触れた挨拶、母校の伊吹直樹校長からコロナ対策を講じた学校の現状報告を交えた挨拶の後、吉田房彦さん(東2)の乾杯のご発声で歓談、交流が始まりました。途中、「歴史街道歩こう会」と「ゴルフ同好会」の活動報告、そして「若い世代」(東22・49)8人が揃って登壇、一人ずつ自己紹介、その姿は注目されました。楽しい懇親会も15時頃、参加者全員で記念撮影し、再会を期して散会となりました。(関西金亀会HPもご覧下さい。)

滋賀金亀会
令和四年度報告とご案内
 副会長兼事務局長
木村 泰健 (東38)

滋賀金亀会の令和四年度は、新型コロナウイルスによる影響を鑑みつつも活動再開の是非を検討することから始まり、懸案事項も多し中、例年通りの事業を開催いたしました。

秋の集いは11月20日、料亭旅館やす井に於きまして親睦会を開催いたしました。ゲストに彦根市在住のアマチュア落語家・湖畔亭おやぶさんをお迎えし軽妙な小話や滑稽な落語を楽しみ、その後の懇親会にて会員の皆様と交流を深めました。とても楽しいひとときでした。「赤鬼杯」ゴ



ルフコンベは6回目の開催となり、11月27日に彦根カントリー倶楽部に開催いたしました。3組12名での開催となり、小寺真知子さん(東19回)が優勝されました。赤鬼杯といえば雨というくらい天候にも恵まれない開催が多く当日の天気模様を心配しておりましたが3年ぶりの開催を祝うかのような晴天となり、笑いの絶えない楽しい開催となりました。本年も同様に開催を予定しておりますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。



この2年間、役員会すら開催できない時期もあり、常に感染状況や関係する諸事情の影響に左右される状況でしたが、開催に踏み切るにあたり、会員の皆様へのご案内や設えにおきましては準備不足は否めないものがあり、ご迷惑をお掛けしましたことお詫び申し上げます。しかしながら今回の開催は滋賀金亀会の新しい一歩を踏み出したものと考えております。今後も滋賀金亀会にご支援ご協力をお願い申し上げます。滋賀金亀会では、滋賀県下にお住まい又はお勤めの卒業生はどなたでも入会(年会費1,000円が必要)できます。「秋の集い」

など各事業の案内をお送りしますので、ぜひこの機会にお誘い合わせになつてご入会ください。入会を希望される方は、次の連絡先まで、お名前と卒業年度を記入してお送りください。折り返し、滋賀金亀会案内をお送りします。
 会長 大塚恵昭(東20回)
 副会長兼事務局長 木村泰健(東38回)
 FAX 0749-12316738

第6回卒業生 同窓会報告
井戸 潔 (東6)

昭和33年3月卒業の第6回卒業生の同窓会を令和4年11月20日(土)静岡県熱海市で開催しました。280名の同窓生に案内状を送り220名の方から返信を受けました。当日は全国各地から50名(男性31名、女性19名)が参加しまし

た。4年前彦根市での開催以来で今回はゆつくり温泉にゆっくり、懐かし話や近況を語り合い、楽しいひとときを過ごすことができました。卒業以来60数年



を経過しましたが、この機会に母校の伊吹校長先生に学校の近況をメッセージでお願したところ快くお引き受けいただき、代読で紹介させていただきました。

コロナも第8波の入口と言われる程度で、全国旅行支援が展開されているなか想像以上の入出で、またちようど熱海花火大会が開催され、ホテル部屋から身近に素晴らしい花火を観覧することができました。翌日は18名が、NHKの大河ドラマの舞台となっている鎌倉を散策し、鎌倉大仏や鶴岡八幡宮を訪ねて帰路につきました。

「喜寿」を祝う同窓の集い

澤 龍洋 (東12)

昭和60年に第1回目の同窓会を開催して以来、修学旅行企画3回をはさみ都合15回目となる今回の同窓会は、「喜寿」を祝う同窓の集いとして上林庄蔵代表幹事のもとと喜寿に合わせるかの様に77名の18歳が10月4日エクスィブ琵琶湖に集まり開催。新たな物故者7名への黙祷に続き、鳥居敬爾君と仲間による静やかで勇壮な尺八奏「鈴鹿」で開幕。

校歌斉唱に続き、上林君の挨拶ではコロナ禍の中での開催に至るまでの、結論が出せない数次の打ち合わせ、薄氷を踏む思いでの開催決断、そして出席者への御礼などの言葉に満座から労を労う大きな拍手が送られた。

今年脚光を浴びる鎌倉在住の小野典子君の乾杯で開宴となり、途

中今回も仙台から駆けつけられた吉村君、

全県中学校に教材副本を寄贈した千菊君の事業紹介や、山本君からは来年の関東地区同窓会の勧誘があり、「雨二モマケズ

風二モマケズ 雪二モ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダラモチ 同窓ノ集イニワタシワイキタイ」と集まった私たちは、戦中戦後の貧しさの中で生まれ、周りの人々の心の豊かさに支えられ、努力した77年を共に寿ぐまさしく喜寿の集いとなった。

今回は2年後に「傘寿」の集いとして、蔭山明夫君を代表幹事に開催が決定した。同会場での二次会には殆ど全員が居残り、気の合う仲間がテーブルを囲み一層話が盛り上がった4時間となった。

又、毎回20名前後の参加者で開催のゴルフ親睦会「g o eんの会」のコンペも中北・喜多・寺村君など歴代の世話方の尽力により、先日110回目が開催され、意気軒昂の仲間内で生き残りをかけた覇権争いが熾烈になっている。



フルート演奏と市長講演の同窓会

川岸 真喜 (東37)

フルート奏者の井伊亮子様と吉岡由美さん(東37回)、ピアノ奏奏会を開催しました。(11月27日ホテルサンルート彦根)

クラシックの曲に加えて、彦根東高校歌を情熱的にアレンジして演奏してください、会場は、なつかしい、校舎を思い出す、などの感想が聞かれました。長年、音楽一筋に歩んでこられたトリオの演奏は、どの曲も息びつたりで、高いレベル。とても贅沢な時間を過ごせました。井伊様、武田様も閉会まで私たちと一緒にいたいただき、恩師の花房房子先生、寺村銀一郎先生、辻浩一先生を囲んで、和やかにご歓談いただきました。

最後は、彦根市長の和田裕行君(東37回)の講演。市政の現状やこれからを、苦労話や裏話で笑いをまじえながら熱弁。会場を沸かせてくれました。



この2年間は、新型コロナウイルスの感染に配慮して、開催を見送っておりました。今回もケーキと飲み物だけのささやかな会食でしたが、恩師の先生

や同級生との再会の場は、住み慣れた家に帰ったような、安らぎとよろこびに満ちていました。つぎの再会を誓って家路につきました。連絡先：090-4769-1589(川岸)



栄光の陸上部OB・OG会

澤 龍洋 (東12)

2011年に故・小西実顧問との生前のお約束を果たすべく開催したOB・OG会から11年が経ち、今回は金亀会総会に同席した14回卒の仲間内から開催を望む声が挙がり、「やろうやないか」と有志に声かけし、集まった世話人会で、14回卒の灰谷章夫君に世話方を丸投げ(砲丸、ハンマー投げとも言)しました。

卒業年次も前回の(東10)から(東14)まで20回卒業まで抜け、山田君(東14)、深尾君(東15)、山田君(東16)、宮元(岩根)君などに協力頂き、灰谷君の提案で案内状以外はメールでのやり取りでスムーズに開催に至りました。10月8日エクスィブ琵琶湖に、90

余名の在籍者のうち女性4名を含む21名が参加し、関東からも柿添君(東13)・森本君(東14)・寺澤君の参加があり、前後5年毎の顔見知りやテーブルを囲み、当時の写真や県大会記録のダイジェスト版などを見ながら現役時代の思い出話に花を咲かせました。

司会の灰谷君が出席者にショートスピーチを依頼すると、短距離選手がロングスピーチ、投擲選手が投げやりなスピーチ(冗談)、脚よりも舌の回転が速くなった往年のアスリート達がバトンを繋ぎ、爆笑の連続で、先輩後輩ともに70歳を越え、ラストスパートが効かなくなってきたほとん全員が、2・3年後に又やろうと100m9秒台の速さで話がまとまりました。

次回開催の折は、今回無念の欠場者や30回卒辺りまでの方はエントリーして頂きゴールに遅れることなく出場の上活躍をお願いします。早稲田大学競争部駅伝監督に38回卒の花田勝彦君が就任し、令和5年の箱根で早大の活躍が期待されることから、寝正月しながら全国各地や彦根から箱根にエールを送ることを約して宴はお開きとなりました。

最後に、母校の陸上競技部の皆さんの今後のご活躍を祈念してゴールインさせていたいただきます。



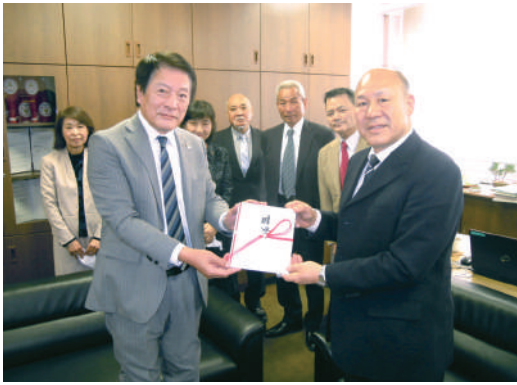
東高20回寄付事業

大塚 恵昭 (東20)

東高20回の卒業生は、卒業50周年を迎えられたことに感謝し、令和4年3月30日に青山校長(当時)に金一封を贈呈しました。

私は金亀会の副会長を仰せつかっており、先輩方が寄付事業をされていることを存じていましたので、6年ほど前の同窓会で先輩方の話を披露しました。

4年後の同窓会は新型コロナウィルス感染症の流行のため開催されませんでした。令和3年の夏過ぎに同窓会幹事長の喜多君に連絡をし、成り行き上、私が世話人代表となり、早速、金亀会事務局の先生に必要な物品をお聞きしました。集めた寄付金と物品の必要額が合わないこともあるため、次のZOOM会議で集まった寄付金(郵送費等の経費は差し引く)をお金で贈呈することにしました。



母校だより

GS I 推進課より

文部科学省より、18年間「スーパーサイエンスハイスクール(S SH)」の指定を受け、本年度からは、新たに「ワールドワイドラーニング(WWL)」構築支援事業」における『カリキュラム開発拠点校』の指定を新たに受けました。SSHとWWLの両方の取組を行っている全国で唯一の学校となります。

WWLの指定に伴い、従来のSS(Super Science)コースをベースにしたGS(Global Science)コースを設置しました。GSコースでは、文理の枠を超え、探究力を育成し、将来のグローバルリーダーの育成を目指す取組を行っています。データサイエンス課題研究、グローバルセミナー、Major/Minor Research、イノベーション講座、教科融合授業、校外研修(関西研修、京大研修、阪大研修、...)などです。現在、1年GSコース生は、社会課題など6分野(エネ

ルギー問題、自然災害、水環境問題、住環境問題、プラスチック問題、世界遺産)に関する課題研究を、2年SSコース生は理数分野の課題研究を行っております。この研究成果は、3月22日から23日の「第2回彦根東サイエンス国際フォーラム」にて、発表します。昨年度より連携をスタートさせた「一般社団法人学びのイノベーションプラットフォーム(PLI J)」(東京大学生産技術研究所内)と



第1回彦根東サイエンス国際フォーラム

の繋がりが本年度深まりました。三菱商事株式会社や堀場製作所株式会社などからのメンターの派遣や、長年本校にて研究開発してきた教科融合授業に関わる教材のプラットフォームへの提供などを行ってきました。特に、1年GSコース生は前述の6分野の課題研究に関わりPLI Jからの支援のもと、有識者からのインタビューや国内外の人々へのアンケートなどをもとに、社会課題を明確にし、それをテーマにしたSTEAM教材(動画)の制作活動をしました。※STEAMとは、Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術)、Mathematics(数学)の5つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念です。

進路指導課より

今年度の受験生は高校入学の時

点からコロナに振り回された学年でした。そしてこの一年は高校生の間でも罹患する生徒が増え、また、濃厚接触者になったり、微妙な後遺症に苦しんだりして本当に不安な毎日の中での受験勉強となりました。夏の進学合宿も今年度こそは実施しようと考えていましたが、急遽取りやめにせざるを得ず痛恨の極みでありました。

学校としては、生活リズムを徹底的に整えることが受験に向かう王道と考えてきましたが、登校することの大切さもなかなか説けない一年となりました。そうした中でもなんとか第一志望校に合格しようとする生徒がほとんどであり、それが今後の人生の糧となることを祈るばかりです。

力を問うという傾向は変わりませんでした。とはいえ、かつて試行テストで出題されたような思い切った新傾向問題はなく、数学がかなり易化したおかげもあってまず順当な点数を稼ぎ出すことができました。また、ほとんどの生徒が実施日に受験することができ、まずはほっとしています。

全国的な傾向でもありますが、高校生の気質として少し気になることがあります。生徒の志向がこじんまりしてきていて、若々しく夢に向かっていくエネルギーが弱くなったように感じられることです。また、今後の大学生活についても、意外なことに、対面授業よりもオンライン授業を望む声が増える傾向があります。人との直接の関わりの中で大きく羽ばたいてい

令和4年度 大学合格者数

()内は令和4年3月卒の現役

Table with columns for university names and counts. Includes categories like 国公立大学, 私立大学, and 国公立大合計.

●部活動

◆ボート部
 ◎近畿高等学校総合体育大会兼近畿選手権大会出場
 男子 シングルスカル 森脇 敬介
 女子 ダブルス 大久保陽平 北口 颯真
 中川才良沙 川瀬 理乃

◎近畿高等学校新人卓球大会
 学校対抗出場
 女子 シングルス 松島 泰誠 中川才良沙
 ◎近畿高等学校陸上競技対校選手権大会出場
 女子 走り幅跳び 福原 恵美
 女子 走り高跳び 鈴木 理央
 女子 砲丸投げ 大音 佳歩
 男子 走り高跳び 中谷 篤司

◎全国高等学校陸上競技対校選手権大会出場
 女子 砲丸投げ 大音 佳歩
 ◎全国高等学校総合文化祭東京大会出場
 女子 砲丸投げ 大音 佳歩
 ◎全国高等学校総合文化祭自然科化学部門出場
 野田 昊希 青山 空

◎全国高等学校総合文化祭文芸部門出場
 文芸部誌 山本 悠華
 散 文 湯浅 完
 俳 句 橋本 侑奈

◎全国高等学校総合文化祭囲碁部門出場
 個人戦 荒川 陽彩
 団体戦 藤川 陽生

◎近畿高等学校総合同文化祭和歌山大会将棋部門出場
 個人戦 山本 賢治

◎近畿高等学校総合同文化祭和歌山大会将棋部門出場
 個人戦 山本 賢治

◎近畿高等学校総合同文化祭和歌山大会将棋部門出場
 個人戦 山本 賢治

◎近畿高等学校総合同文化祭和歌山大会将棋部門出場
 個人戦 山本 賢治

◎近畿高等学校総合同文化祭和歌山大会将棋部門出場
 個人戦 山本 賢治

◎近畿高等学校総合同文化祭和歌山大会将棋部門出場
 個人戦 山本 賢治

◎近畿高等学校総合同文化祭和歌山大会将棋部門出場
 個人戦 山本 賢治

◎近畿高等学校総合同文化祭和歌山大会将棋部門出場
 個人戦 山本 賢治

◎全国高校囲碁選手権大会出場
 個人戦 武立 陽平 藤原 りこ
 武立 陽平 今井 萌亜
 藤原 りこ 今井 萌亜
 男子 団体戦 武立 陽平 五味孝一朗
 藤原 りこ 今井 萌亜
 女子 団体戦 桑原 結志 堤 優誠
 藤原 りこ 荒川 陽彩
 今井 萌亜 藤川 陽生

◎近畿高等学校総合同文化祭囲碁部門出場
 個人戦 堤 優誠 今井 萌亜
 男女 団体戦 ※近畿3位
 柳原 龍斗 山口 航輝
 荒川 陽彩

◎近畿高等学校総合同文化祭囲碁部門出場
 個人戦 中川 結光 松宮 結愛
 ◎近畿高校囲碁選手権大会出場
 個人戦 中川 結光 松宮 結愛

◎近畿高等学校総合同文化祭囲碁部門出場
 個人戦 中川 結光 松宮 結愛

◎近畿高等学校総合同文化祭囲碁部門出場
 個人戦 中川 結光 松宮 結愛

◎近畿高等学校総合同文化祭囲碁部門出場
 個人戦 中川 結光 松宮 結愛

◎近畿高等学校総合同文化祭囲碁部門出場
 個人戦 中川 結光 松宮 結愛

◎近畿高等学校総合同文化祭和歌山大会将棋部門出場
 個人戦 山本 賢治

◎母校史料館所蔵
 『東鑑』あるいは『吾妻鏡』
 昨年のNHK大河ドラマ、『鎌倉殿の13人』。脚本家三谷幸喜氏の思いのためか、高橋氏の時の日本史の授業とは違った印象を持たれた方も多かったと思います。脚本家の意図はともかく、基本となったのは、鎌倉幕府によって編纂された編年体の歴史書、『東鑑』、あるいは『吾妻鏡』のはずです。

原本は存在せず、写本と版本のみが伝わっているとのことですが、本校史料館所蔵本は、全52巻で第45巻は他所蔵と同じく欠けており、表紙は全て51巻全てが茶色系、末尾の52巻目の表紙は青色系で、『東鑑 脱漏』と印刷されたラベルが貼られ、『全部五拾貳巻』と墨書されています。「脱漏」とは藤原頼経の将軍位を排除しようとした北条義時の後室伊賀氏らによる「鎌倉騒動」と「藤原頼経の将軍宣下」に象徴される元仁・嘉禄年間の記事が脱漏していたのを補足したとの意と思われます。

蔵書印は、「彦藩弘道館蔵書印」、「大津師範学校書籍縦覧所蔵書印」、「滋賀県尋常中學校蔵書印」が押され、表紙には「滋賀縣中學校」と印刷されたラベルが貼られていることから、彦根公立中学校

蔵書印は、「彦藩弘道館蔵書印」、「大津師範学校書籍縦覧所蔵書印」、「滋賀縣中學校」と印刷されたラベルが貼られていることから、彦根公立中学校

蔵書印は、「彦藩弘道館蔵書印」、「大津師範学校書籍縦覧所蔵書印」、「滋賀縣中學校」と印刷されたラベルが貼られていることから、彦根公立中学校

蔵書印は、「彦藩弘道館蔵書印」、「大津師範学校書籍縦覧所蔵書印」、「滋賀縣中學校」と印刷されたラベルが貼られていることから、彦根公立中学校

蔵書印は、「彦藩弘道館蔵書印」、「大津師範学校書籍縦覧所蔵書印」、「滋賀縣中學校」と印刷されたラベルが貼られていることから、彦根公立中学校

蔵書印は、「彦藩弘道館蔵書印」、「大津師範学校書籍縦覧所蔵書印」、「滋賀縣中學校」と印刷されたラベルが貼られていることから、彦根公立中学校

蔵書印は、「彦藩弘道館蔵書印」、「大津師範学校書籍縦覧所蔵書印」、「滋賀縣中學校」と印刷されたラベルが貼られていることから、彦根公立中学校

蔵書印は、「彦藩弘道館蔵書印」、「大津師範学校書籍縦覧所蔵書印」、「滋賀縣中學校」と印刷されたラベルが貼られていることから、彦根公立中学校

蔵書印は、「彦藩弘道館蔵書印」、「大津師範学校書籍縦覧所蔵書印」、「滋賀縣中學校」と印刷されたラベルが貼られていることから、彦根公立中学校

母校だよ

が滋賀県尋常中學校として再発足してまもなく、大津師範学校書籍縦覧所から移管されたことがわかります。

第一巻の目録末尾に「富春堂新刊」と記され、「脱漏」の巻の末尾には、「寛文八戊申〇〇仲秋江戸神田鍛冶町 中野孫三郎板行」と記されています。富春堂は慶長年間の京都にあったとされていますから、関連は不明です。

少し読みづらいとは思いますが、母校デジタル史料館内の『東鑑、吾妻鏡』を読んでみてください。「彦根藩校蔵書」群の中の4と5にまたがっています。

◎今井恒郎著『萬國史』と彦根公立中學校蒐集の教育関係書籍

国立公文書館が公開しているデジタル化された公文書から、明治27年3月30日に、今井恒郎滋賀県尋常中學校教諭・校長心得が滋賀県尋常中學校校長に伊藤博文内閣総理大臣の奏上を受け、明治天皇により任命されたことが分かります。

今井恒郎校長の在任中の事績については、母校『百二十年史』中の阿部義宜先生が担当された、第三編、第一章、第四節今井校長と一斉辞任問題を御一読ください。

今井校長先生は、明治27年3月から9月にかけて、中學校向けの教科書『萬國史』を、現在の「吉川弘文館」の前身、東京市京橋區南傳馬町において書籍発行所を営んでいた近江商人、吉川半七のもとで出版しております。

母校史料館蔵の『萬國史』の第

三編、第三期「佛國革命より最近時に至る」の第四章、第四節「社会制度の進歩」の中で「教育」について触れられ、当時の米欧諸国に波及した初等義務教育制度を簡略に紹介しております。

その冒頭に「北米合衆国の一方には良好なる小學制度あり。」との記述があります。

彦根公立中學校の蔵書印が押された洋綴じ翻訳本の歴史書や教育関係書籍の中に合衆国各州の教育に関する法制度を紹介した、明治11年文部省印行、田中不二麻呂文部大輔の序文から始まる『米國學校法』上下巻があります。

上巻では、全州の法典の概略とマサチューセッツ州の教育関係法と制度、下巻ではペンシルヴァニア州の教育関係法と制度を詳細に紹介しています。

合衆国の教育制度を参考にしたとされる「教育令」が交付される前年に、印刷刊行されたことになりま。

紙の劣化や変質もあって読みづらくなっており、漢字表記された各州名の振り仮名は、より判読しがたくなっています。以下に各州名の漢字表記の振り仮名を、原著に従って、あげておきます。

- 雅拉巴麻 ||アラバマ
- 耳剛色斯 ||アルカンザス
- 嘉理符尼亞 ||カリフォルニア
- 干捏底格 ||コンチクチカット
- 特拉華 ||デラウェア
- 福落里得 ||フロリダ
- 卓爾治亞 ||ジョージア
- 伊利那倚 ||イリノイス
- 音地亞那 ||インディアナ

- 愛約哇 ||アイオワ
- 剛色斯 ||カンサス
- 建得基 ||ケンタッキー
- 祿細亞那 ||ルイジアナ
- 緬 ||メイン
- 瑪理蘭 ||メリランド
- 馬洩些斯 ||マサチューセッツ
- 米世幹 ||ミシガン
- 梅尼所達 ||ミネソタ
- 密斯昔比 ||ミシシッピ
- 拿布拉士格 ||ネブラスカ
- 尼威達 ||ネヴァダ
- 牛含布什爾 ||ニュハンプシャイル
- 烏遮爾遮 ||ニューゼルシー
- 紐育 ||ニュヨーク
- 北格阿利納 ||北カロライナ
- 呵海呵 ||オハオ
- 額里恩 ||オレゴン
- 邊西威業 ||ペンシルヴァニア
- 洛哀倫 ||ロードアイランド
- 南格阿利納 ||南カロライナ
- 典捏西 ||テンネシー
- 德過瑟斯 ||テクサス
- 花滿的 ||ウエルセント
- 費爾治尼亞 ||ヴァージニア
- 西費爾治尼亞 ||ウエストヴァージニア
- 威仕幹清 ||ウヰスコニン
- 哥羅拉多(部) ||コロラド
- 柳墨是科 ||ニューメキシコ

※松田幸雄元校長先生から、『東京都政五十年史』や教育関係の書籍を多数ご寄贈いただきました。滋賀県立彦根東高等学校父母と

金亀会事務局より

教師の会（PTA）では、例年開催しております文化講演会におきまして、本校のOGである弁護士福谷朋子氏（東38回卒）にご講演



文化講演会開催の様子

をいただきました。「旅立つ君への道標（みちしるべ）」と題し本年度より成年年齢が引き下げられたことよ

つて生徒たちにもどのような影響があるのか、親として学校としてどう対処していけばよいのかというPTAからの要望にお答えいただきたく形で講演をお願いいたしました。福谷さんもお子様がお世代ということもあり、弁護士としての目線、親としての目線といった様々な角度から実例を交えて解り易いご講演でした。ご参加いただきました保護者の皆様からも「良いお話が聞けた」と好評でした。

福谷さんには心より感謝申し上げます。ありがとうございます。本校PTAでは例年こうした講演会や研修を開催しております。多岐にわたり活躍されている本校の卒業生の皆様におかれましては今後このような機会にご教示をお願いすることもあろうかと思っておりますがご協力いただけますと心強い限りでございます。よろしくお願

中村 善造
寺村 元延
宮村 照子
謹んで哀悼の意を表します。

◎会報掲載について

金亀会事務局では、会報に掲載する原稿や学校のHPに掲載する記事を募集しております。同窓会をされた場合、その写真や記事を金亀会事務局までお送りください。金亀会報への掲載を希望する場合は遅くとも11月末までに、年明けに同窓会を持たれる場合には寄稿の予約をお願いします。字数は15字×30行程度と写真1枚でお願いします。

また、同窓会の案内を送る際に必要となる最新の卒業生の住所の宛名ラベルについては、1シート（12名分）を60円で用意しますので、事務局にお問い合わせください。

◎記念誌等のセット販売について

金亀会では、120周年記念誌とのセット販売をしております。（Aセット） 120周年記念誌、金亀会名簿、トートバッグ、記念ペンのセット
↓ 5,000円で販売

（Bセット） 120周年記念誌、この1球、校歌レコード、トートバッグ、記念ペンのセット↓ 3,000円で販売

（Cセット） 120周年記念誌と東高新聞縮刷版Ⅲ・Ⅳのセット ↓ 3,500円で販売

在庫がなくなり次第、販売は終了します。ぜひこの機会にお買い求めください。

訃報

- 石原 省吾
- 小野 忠人
- 川村 典子
- 谷川 弘
- 月村 至文

東京六大学野球

慶應大学4年 増居 翔太 (東67)
 慶應大学4年 朝日 晴人 (東67)
 早稲田大学4年 原 功征 (東67)

「伝統の早慶戦」。夢の大舞台と言っても過言ではない。しかも「野球」。なにも野球ばかりを特別視するわけではないが、この舞台で赤鬼達の文字通り「鬼気迫る」戦いがみられるということは、百五十周年に迫る本校の歴史でもそうあることではない。

朝日晴人選手・原功征選手・増居翔太選手(いずれも東67)の本校在学当時のエピソードは次のとおりである。一年生でのクラス合唱、声は大きいのだが、グラウンドで張り上げる用の声と、合唱用の声とは互換が効かないとのこと、毎回補習(言うまでもなく居残り練習)を受けたとのことである。他にも、クラス劇では、キューピットの役を演じ、本人曰く「見せ場でそこそこ受けた」ようである。なんとも、野球部らしくてほほえましい。白球を追

うことに青春を賭けつつ、日々の勉学に励みつつ、高校生らしい生活もしっかりと満喫できており、このパランス感覚の良さも活躍の背景にあるのではないかと思わないでもない。その後、朝日選手と増居選手は慶應大学に進学し、原選手は早稲田大学に進学することになった。このことについて、原選手は「2人が慶應大学に進んだことが、早稲田に進んだきっかけであり、大学野球でも注目される『早慶戦』で同級生と戦うことが目標であり、2人を常に意識していた。あの舞台に立ちたい。」と当時を振り返った。また、朝日選手と増居選手も、早稲田に原選手がいることが良い意味で刺激になったようであり、特に増居選手は「投手の原選手とバッターの朝日選手との対戦は、個人的にはとても楽しみ。」と答えている。

3選手によると、「大学野球では、スーパースター級の選手が各チームにおり、高校野球よりも多くのホームランがでる。身体能力を始めとする選手個々のレベルが違う。」とのことである。その中でも増居選手は「しかし、弱くてもチャンスがないわけではない。」と極めて前向きであり、原選手は出場できない中でも、方法や求められる役割を常に考えて長所を伸ばす練習を心掛けてきた。彼らが高校で監督から教わった、場面で要るものに最適なものを作り出す野球の精神は、しっかりと根付いているようである。(総務課渉外室 金亀会事務局)



左から増居選手、原選手、朝日選手

原 功征選手プロフィール

- ・早稲田大学4年生 投手・副将
- ・近江八幡市立八幡中学校出身
- ・夏の甲子園では青森山田高校(青森)との2回戦で先発し好投
- ・東京六大学野球では好リリーフ左腕サイドスロー投手として活躍



増居翔太選手プロフィール

- ・慶應義塾大学4年生 投手・副将
- ・彦根市立稲枝中学校出身
- ・夏の甲子園では波佐見高校(長崎)との1回戦で、先発し甲子園初勝利に貢献
- ・東京六大学野球では1年春から4年間慶應大を支えた大エースとして活躍



朝日晴人選手プロフィール

- ・慶應義塾大学4年生 内野手
- ・大津市立青山中学校出身
- ・夏の甲子園・春の選抜ともにすべての試合に出場し、17打席8安打2得点
- ・東京六大学野球2022年春季リーグ戦では打率3割9分を記録するなど、中心選手として大活躍



令和5年度

金亀会総会

滋賀金亀会総会

●日時 令和5年5月21日(日)
 (受付12時45分)

13時15分 滋賀金亀会総会

14時 総会

15時 記念講演会

●場所 彦根東高校 木造校舎多目的ホール

●講演

『地球温暖化問題をめぐる内外動向と日本の課題』

講師

東京大学公共政策大学院特任教授
有馬 純氏 (東26)



17時より

*懇親会

彦根キャッスルリゾート&スパ
 0749-21-2001
 10,000円(当日徴収)

●ご出席の方は同封の振込用紙からハガキを切り取ってご返送ください●